

## G2 平成 21 年度活動報告

鍋倉賢治

### 【1】研究目的

本研究グループ（以下 G2）は、カリキュラムモデルの再構築を目的とする。そのために必要な課題として、①文献研究、②国内外の大学等のフィールド調査研究、③体育センターのカリキュラムの変遷、④体育センターが行なってきた体育の評価分析、などが必要である。なお、③及び④については G1 が検討しており、G2 の 21 年度の課題は、特に①と②に着手し、そこから得られる暫定的なカリキュラム・モデルの提示を行なうこととした。

### 【2】構成員

遠藤卓郎、大高敏弘、進藤正雄、嵯峨寿、鍋倉賢治、松元剛、谷川聡、福田崇、小山宏之、武田剛、吉岡利貢

### 【3】21 年度の活動報告

#### （1）会議

前半の会議では、研究目的の確認、それに伴う課題の設定や WG の活動方針などに費やされた。当面、目的に掲げたように、文献研究が必要不可欠との認識で一致し、2 学期から毎週勉強会を実施することが決定した。その後、勉強会の積み重ねを経て、今年度中に暫定的なカリキュラム・モデルを構築し、3 月実施のフォーラムにて提示した。また、その際には、全体の総意のモデルよりも、できるだけ先鋭的な 3 つのモデルを作成することも確認された。12 月以降は、勉強会と合わせて、各 WG でそれぞれ課題のカリキュラム・モデルの構築を行なってきた。G2 全体の会議と主なテーマは表 1 の通りであった。

表 1 会議と主なテーマ

---

第 1 回（6 月 29 日）	：ブレインストーミング（意見交換会）
第 2 回（7 月 16 日）	：研究課題について意見交換、作業工程の決定（2 学期から週 1 回の勉強会）
第 3 回（10 月 16 日）	：今年度の研究課題の決定（3 月のフォーラムで複数のカリキュラム・モデルの提示）、海外視察 WG の作成
第 4 回（11 月 6 日）	：カリキュラム・モデルの編成方針①
第 5 回（11 月 20 日）	：カリキュラム・モデルの編成方針②
第 6 回（12 月 4 日）	：メンバーの考える大学体育の理念とカリキュラム・モデル
第 7 回（12 月 11 日）	：フォーラムで提示する 3 つのカリキュラム・モデルの WG 編成
第 8 回（1 月 22 日）	：各 WG から進捗状況の報告
第 9 回（2 月 5 日）	：各 WG のカリキュラム・モデルの中間報告
第 10 回（2 月 19 日）	：各 WG のカリキュラム・モデルの報告

---

## (2) 勉強会

右記の3つのテーマでの文献研究が必要となり、それぞれ担当を決め、2学期以降原則毎週2名から文献が紹介された。勉強会の日程と発表テーマは表2の通りであった。

た。

- ①教養、一般体育の理念に関わる研究
- ②国内外の他大学のカリキュラムモデルに関する研究
- ③大学体育、運動の効果に関わる研究

表2 勉強会の発表者とテーマ

---

第1回 (9月11日)	： 谷川 (米国の学校体育事情)、鍋倉 (大学体育の授業効果)
第2回 (9月18日)	： 遠藤 (大学教育における保健体育の意義)、嵯峨 (筑波大学における教養教育の理念・最新版)
第3回 (9月25日)	： 松元 (オハイオ州立大の現状)、大高 (防衛大学校の教育課程：FD推進校)
第4回 (10月2日)	： 進藤 (東京都市大、東京農工大の体育)、福田 (カナダにおける教育制度)
第5回 (10月9日)	： 武田 (脳を鍛えるには運動しかない!)、鍋倉 (運動で高めるメンタルヘルスと脳機能)
第6回 (10月16日)	： 嵯峨 (教養について)、松元 (オハイオ州立大学における課外スポーツの運営)
第7回 (10月23日)	： 谷川 (米国におけるウェルネス事情)、遠藤 (「一般教養」の脱構築)
第8回 (10月30日)	： 進藤 (滋賀大学の教育課程)、大高 (天理大学の教育課程)
第9回 (11月6日)	： 吉岡 (大学体育は「健康」を目標にすべきか)、福田 (北米における高校までの体育と大学体育の在り方)
第10回 (11月13日)	： 谷川 (21世紀初頭の中国の大学体育カリキュラム)、鍋倉 (ランニングとは?)
第11回 (11月20日)	： 松元 (米国の課外スポーツと学習効果)、遠藤 (身体知としての教養)
第12回 (12月11日)	： 嵯峨 (アリストテレスの「欲望」)、大高 (福島大学のカリキュラム)
第13回 (12月18日)	： 進藤 (東京農工大のカリキュラム)、福田 (デンマーク：大学におけるスポーツ施設サービス)
第14回 (1月22日)	： 小山 (米国の大学体育の効果：生涯運動への意識・行動変容)
第15回 (1月29日)	： 松元 (米国の大学体育)、谷川 (米国の学校体育：フィットネス教育)
第16回 (2月5日)	： 嵯峨 (社会的責任のマーケティング)

---

## (3) カリキュラム・モデルの再構築へのステップ

カリキュラムの編成方針を検討した後、メンバー全員からカリキュラムやその理想などについて提案・意見表明を行なった。その後、下記の三つのグループに分かれ、カリキュラム・モデルの再構築へ向けたグループワークを重ね、その一部を3月2日のフォーラムにて提案した。

- ①○松元、遠藤、吉岡
- ②○嵯峨、進藤、福田、武田
- ③○谷川、大高、鍋倉、小山

## (4) 海外視察など

下記の概要で海外視察を行なった。

日程：2010年3月15日～20日

場所：米国 Indianapolis にて開催される American Alliance for Health, Physical Education, Recreation and Dance National Convention

目的：アメリカの大学体育における過去と現在について、Dr. Corbin から情報収集を行う。

参加者：松元剛、吉岡利貢